5．心のバリアフリー・情報バリアフリーの取り組み

心のバリアフリー



●啓発･理解促進

イベント開催や研修実施、ホームページ等での情報発信で心のバリアフリーについての啓発や、相互理解の促進を図ります。

●心のバリアフリーに資する教育

子どもへのバリアフリーに関するパンフレットの配布や体験イベントの実施を推進します。



●従業員への研修

区や公共交通機関、民間商業施設等の従業員への研修や資格の取得を推進します。

教育啓発特定事業

対象	事業者	事業概要
区民等	品川区	区民への心のバリアフリー推進の取り組み （手話の理解促進、障害者差別解消法の啓発、高齢者、ジェンダー・多文化等多様なひとの理解啓発、ユニバーサルデザインの普及啓発など）
利用者等	各施設管理者	利用者への心のバリアフリーに関する啓発活動の実施（優先利用など）
生活関連施設の従業員など	各施設管理者	障害者等の多様なひとへの理解を深める取り組み、資格取得の推進

情報バリアフリー



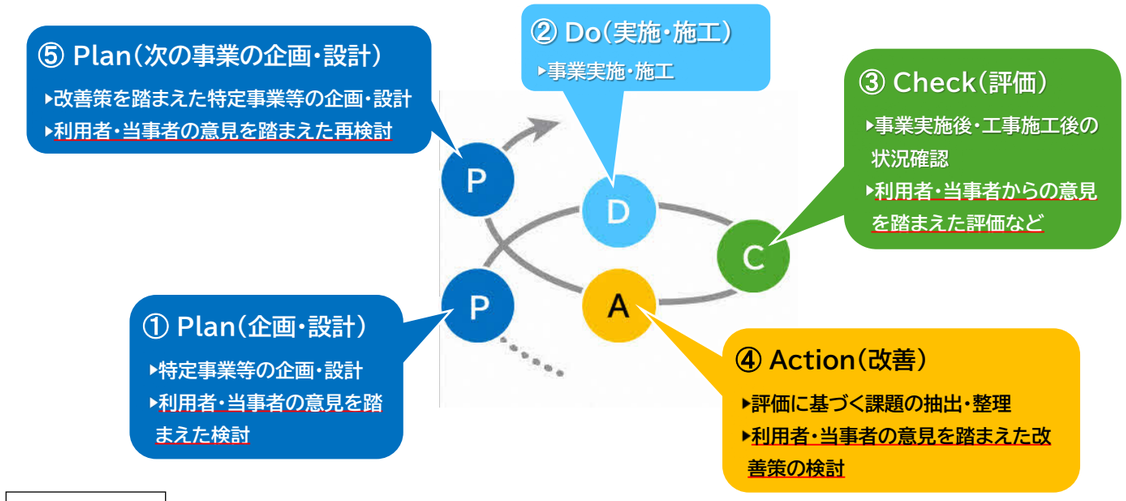
●バリアフリー情報の提供･発信　●コミュニケーション手段の充実　●バリアフリーマップの充実

適切なバリアフリー情報の整備や、ウェブアクセシビリティの向上、手話等のコミュニケーション保障の向上など、情報提供や情報発信を進めます。

6．計画・事業等の推進に向けた今後の取り組み

本計画を推進していくため、特定事業計画を策定し、毎年度その進捗管理と改定（更新）を行い、進捗状況や内容を周知します。

また、個別の事業の実施（Do）にあたっては、その企画や設計･施工段階において、可能な限り当事者参画による検討を進めることで、利用者目線での事業実施に努めます。事業の評価（Check）の結果を受け、必要な事業の改善（Action）を行いながら、多様な主体との連携により、協働による継続的なバリアフリー化を推進します。



お問い合わせ
品川区　防災まちづくり部　地域交通政策課
〒140-8715　品川区広町二丁目1番36号　電話：03-5742-7138　FAX：03-5742-6887

品川区 大井町駅周辺地区 バリアフリー計画【概要版】令和8年9月改定

1．改定の背景と目的

大井町駅周辺地区では、平成27年3月にバリアフリー計画を策定し、バリアフリー化の推進に取り組んできました。計画策定から10年が経過する中、駅周辺ではまちづくりが大きく進展するとともに、周辺地域を含めたさらなるバリアフリー化へのニーズが高まっています。また、関連法令の改正など、計画を取り巻く環境も変化しています。

こうした背景を踏まえ、重点整備地区の拡大や新たな特定事業を位置づけることで、商業･業務･文化の拠点である大井町駅周辺の面的なバリアフリー化をより一層推進することを目的として、大井町駅周辺地区バリアフリー計画を改定しました。

2．基本目標・基本方針

多様なひとの移動や活動を支え
安全・安心・快適に回遊できる
誰一人取り残さない まちなかの実現

方針1　区全域におけるバリアフリー化をめざした取り組みの推進

区内の拠点となる地区から施設や経路等の面的な整備を実施し、その成果や課題を活かしながら、区全域におけるバリアフリー化を進めます。

施設や経路等の新たな整備・改修においては、ユニバーサルデザインを基本とし、当事者参画を推進します。

方針2　心のバリアフリー･情報バリアフリーの推進

だれもが互いを理解し尊重し、支えあえる関係を形成するため、当事者理解につながる研修・教育や、支えあいを促す啓発などにより、心のバリアフリーを推進します。

容易に情報を入手・発信できる環境の整備に向け、適切な情報提供や、手話をはじめとしたコミュニケーション手段の充実などにより、情報バリアフリーを推進します。

方針3　協働による取り組みの推進

区や東京都・国などの行政機関、民間事業者やNPO法人、区民や地域など様々な主体の取り組みを共有・連携し、協働による継続的な取り組みを推進します。

Shinagawa City 品川区

音声コード

右のマークは、音声コード「Uni-Voice」です。専用アプリ等で読み取ると、音声で内容を確認できます。

3．整備方針（要約）

鉄道駅

- エレベーターやスロープの新設・改修など多様な利用者が通行しやすい経路の充実を図ります。
- 多様な利用者に配慮した案内・サインの設置など安心して快適に利用できる整備に努めます。
- バリアフリートイレや券売機などの機能充実を図ります。

路線バス・タクシー

- バス乗り場の上屋やベンチの設置など快適性・利便性の向上を図ります。
- タクシー乗り場のスロープ設置など、段差の解消を図ります。

道路

- 歩道の段差や傾斜を改善し、車いすやベビーカーが通行しやすい幅の確保など、多様なひとが移動しやすい整備を図ります。
- 青物横丁駅前交差点のバリアフリー化を推進します。
- 点字ブロックは連続してつながるよう設置し、維持管理を実施します。また、最新技術を取り入れ、音声による移動支援等の普及を進めます。

建築物

- 多様な利用者にわかりやすい案内やサインを設置します。
- 筆談用具などの補助具があることの表示や、遠隔手話通訳システムの導入を推進します。
- バリアフリートイレの設置や、オストメイト用設備、大型ベッドの設置などのさらなる機能充実を図ります。
- 授乳室やおむつ替えスペースの設置や機能確保を図ります。

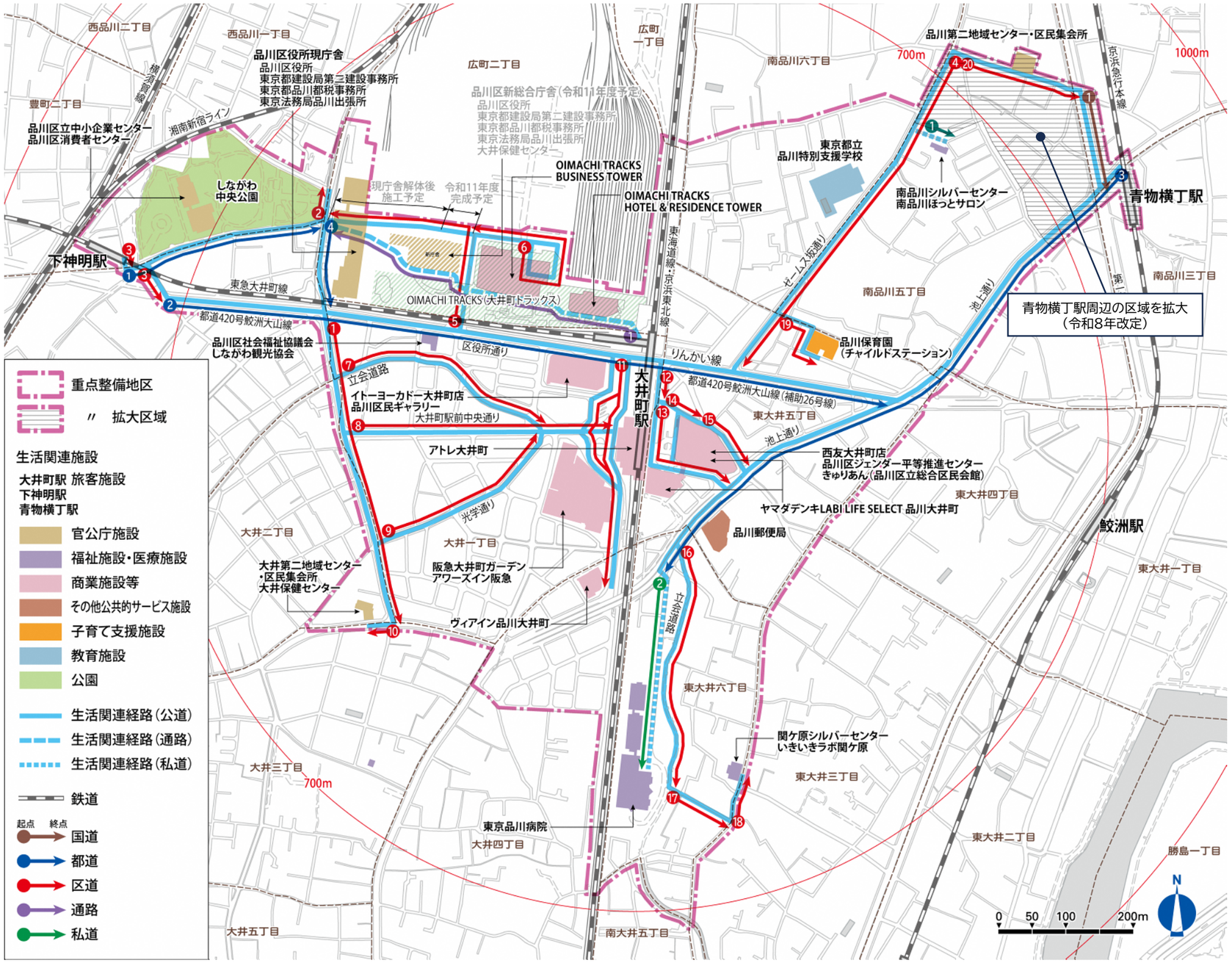
交通安全施設

- 横断歩道のエスコートゾーンの整備、音響式信号機の設置などを推進します。

4．重点整備地区内における主な取り組み内容

※計画本編の中から抜粋して示しています。詳細は本編に記載しています。

大井町駅を中心とした半径700m（徒歩10分圏内）を目安に、生活関連施設・生活関連経路を含む区域を「重点整備地区」に設定しています。
重点整備地区における移動等円滑化を実現するため、本計画では各主体が取り組むべき特定事業およびその他の事業を定めています。



公共交通特定事業

対象施設		事業概要
大井町駅	りんかい	エレベーターの増設
	東急	トイレの機能・利便性向上
青物横丁駅		案内・サインの設置
路線バス		上屋・ベンチの設置の推進
		バス接近表示装置設置推進

道路特定事業

対象施設	事業概要
国道❶	青物横丁駅前交差点のバリアフリー化
	歩道の勾配の改善
	歩道の平坦性の確保
	歩道の有効幅員の拡大
区道❸ 都道❶	連続性を確保した点字ブロック敷設
区道❼	周辺の開発に合わせた道路整備
区道⓫	大井町駅西側への休憩施設の設置
	大井町駅西側タクシー乗り場の段差解消
生活関連経路	音声による移動支援等の最新技術の活用
	歩車分離されていない道路の路側帯カラー化
重点整備地区内	連続性を確保した点字ブロック設置、維持管理

建築物特定事業（官公庁施設）

対象施設	事業概要
品川区役所	案内・サインの設置
	トイレの機能・利便性向上
	カームダウン・クールダウン室の設置
中小企業センター	トイレの機能・利便性向上
消費者センター	遠隔手話通訳システム導入
大井第二地域センター・区民集会所	案内・サインの設置
	トイレの機能・利便性向上
大井保健センター	案内・サインの設置
品川第二地域センター・区民集会所	点字ブロックの補修
	案内・サインの設置
	トイレの機能・利便性向上、ベビーチェアの設置等
	車いす使用者用駐車施設と表示の設置
きゅりあん（品川区立総合区民会館）	筆談対応表示の設置
	遠隔手話通訳システム導入
	トイレの機能・利便性向上
品川区民ギャラリー	案内・サインの設置
	筆談対応表示の設置

交通安全特定事業

対象	事業概要
生活関連経路	信号機の改良（音響機能の整備、歩行者用青時間の確保）
	エスコートゾーンの整備
	道路標識・道路標示の適切な補修
	違法駐車行為の防止のための事業

道路適正利用に関する事業

対象	事業概要
生活関連経路	看板や商品のはみ出し指導
重点整備地区内	放置自転車対策の強化
	自転車利用のルールとマナーに関する広報啓発活動

継続検討事業

対象	事業概要
私道❶	急勾配対策に向けた調整
品川道踏切	安全・安心な通行および利便性向上に関する検討
大井町駅	大井町駅中央口西側の昇降利便性向上に向けた検討
大井町駅	区役所通り（都道420号）と大井町駅の昇降利便性向上に向けた検討
各鉄道駅の券売機	バリアフリー整備ガイドラインへの適合継続およびさらなる利便性向上に向けた検討
大井町駅東側歩行者デッキ	昇降利便性向上に向けた検討
社会福祉協議会	出入口やエレベーター等の幅員改善に向けた検討

